

## ☆受講された方の声☆

3つの権利を他人からとられた時期があって、すごく心細いうえに頼ることができなかったけど、今度から友達に相談してみようと思いました。



友達を泣かせたら、友達の権利をとるんだね。



子どもより

安心・自信・自由の3つの権利を私がもっているのだと知って、びっくりしました。秘密は秘密でも安心できない秘密は相談していいのかわかりませんでした。でも、CAPの話聞いて、親やおとなに相談してもいいんだということがわかりました。

子どもの声に耳を傾けること、とても大切なんだと改めて感じました。仕事と一緒にいる時間が少ないので、たくさん褒めて、たくさん話をして、子どもが甘えられる時間を作りたいと思いました。



保護者より

人権意識をたくさん育ててあげたい。「けんり」の劇をみて、子どものまわりになんでも相談できるおとながたくさんいるような環境にしたいと感じた。

子どもたちに自分の意思で「NO」と言ったり、逃げたり、相談したりする力を小さい時からつけておくことは、大変大切なことだと思う。



教職員より

色々な暴力があることを改めて感じ、しっかり子ども達に向き合い、関わっていくことが大切だと思いました。

### ～一緒に活動してみませんか？～

CAP庄内では、様々な形で活動を応援して下さる方を募集しております。

★ワークショップを実施するCAPスペシャリストになりたい！

★賛助会員として、CAP庄内の活動を支えたい！

★子どもたちにワークショップを受けてもらいたい！ などなど

CAPの活動に関心をお持ちの方は、下記連絡先までお問合せください。

【CAP庄内事務局】 080-5575-1605

## キャップ ～CAP庄内の活動紹介～

キャップ

CAPは「Child Assault Prevention」の頭文字で、「子どもへの暴力防止」という意味です。子ども達が虐待やいじめ、性暴力など様々な暴力から自分の心と体を守ることができるように開発された人権教育プログラムです。子ども達に「自分を大切にできる心=人権意識」の大切さや、暴力に対して具体的にどう対応することができるかを伝え、すべての子ども達が本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。



### (CAP庄内について)

CAPプログラムは、1978年にアメリカで開発され、1985年に日本に紹介されました。現在、世界では16か国、日本では北海道から沖縄まで150以上のCAPグループがあり、CAP庄内もその一つです。庄内地域（一部山形市を含む）の幼稚園・保育園・小学校・中学校・行政機関・児童養護施設等でワークショップを実施しています。



### CAPプログラムの3つの理念

#### 子どもの権利

子どもは「安心して」「自信をもって」「自由に生きる」という大切な3つの権利を持っています。誰もが3つの大切な権利を持っていると知ること、「大切な自分を守る」という人権意識が育ちます。

#### エンパワメント

「エンパワメント」とは、その人が本来持っている力を信じ、力を発揮できるように働きかけることです。CAPでは、子ども自身が自分の権利を守るためにできることを一緒に考え、学びます。

#### コミュニティ

子どもへの暴力を防ぐためには、子どもを孤立させない環境づくりが大切です。そのためには、子ども達の生活の場である、「家庭」「学校」「地域」をつなぎ、一体となって取り組むことが重要と考えています。

## 大切な3つと権利を守るためにできること

### 【大切な3つの権利】



あんしん



じしん



じゆう

### 【権利を守るためにできること】



いや  
(NO)



ウォー  
特別な叫び声



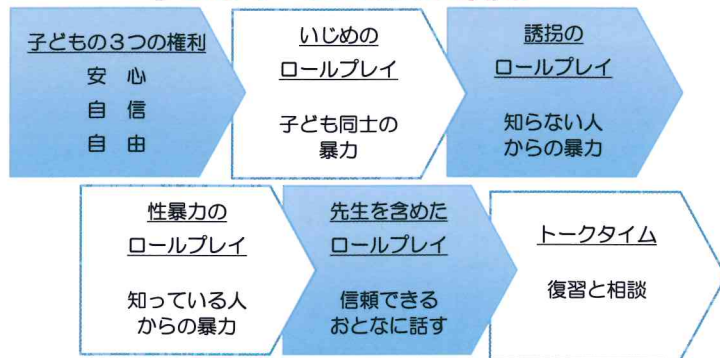
逃げる  
(GO)



誰かに話す  
(TELL)

## ワークショップの紹介

### ～子どもワークショップの概要～



### 就学前プログラム

写真や絵・歌や人形を使い、「けんり」「あんしん」「じしん」「じゆう」などの言葉の概念をわかりやすく楽しく伝えます。暴力というテーマを怖がらないで楽しく学べるように様々な工夫がされています。子ども達が集中して学べるように1回のワークショップは20分+トークタイムとなっており、3日間にわけて実施します。



### 小学生プログラム

子どもは誰でも「安心して」「自信をもって」「自由に」生きる権利をもっていることを寸劇や話し合いを通して伝えます。そこで子どもは、自分を大切に、相手も大切にすることを学びます。

大切な3つの権利を守る方法として、「いや」「逃げる」「相談する」を一緒に練習します。1回のワークショップは90分（45分×2コマ）です。



### 中学生プログラム

日本の中学生の状況に配慮し、1999年に開発されたプログラムです。正しい意見や間違った意見はないこと、どんな意見も尊重されることを強調しながら子どもと一緒に考え、自由な意見や気持ちの発言を取り入れて進めていきます。自分の気持ちを人に伝える、人の気持ちを聴くという練習もします。1回のワークショップは200分（50分×2コマ×2日間）です。



### おとなプログラム

教職員向けのプログラムと保護者や地域の方を対象としたプログラムがあります。子どもへの暴力の概要、子どもワークショップの内容や子どもへの支援方法などを伝えます。

### ～おとなワークショップの概要～

